

「衛星通信型テレビ会議用機器」の簡単収納キャリーケース

1. 使用方法

- (1) 市販のキャリーケースを活用した新しい包装スタイルで、対象品に合う立体トレイを製作してキャリーケースにセットします。
- (2) 多品種少量の包装に適していて、使い易く、汎用性があるため、機内持ち込みのリユース・コンテナで採用されました。



2. 機器の収納配分(キャリーケース2個で1セット) 3. 立体トレイ構造と収納方法

機器名称	機材	ケース1	ケース2
キャリーケース	3.8	1.9	1.9
緩衝材	1.4	0.6	0.8
①Cisco891・ルータ	2.2	2.2	—
①Cisco891・ルータ	2.2	2.2	—
②lifesize Icon 600・オーディオ	1.4	—	1.4
③lifesize Phone・マイク	1.5	—	1.5
④lifesize Camera・カメラ	1.4	—	1.4
⑤BGAN EXPLOPER・衛星通信	2.9	2.9	—
⑥ポータブルモニター・映像	0.9	—	0.6
⑦ケーブル	2.0	—	2.0
合計 10kg 未満/ケース	19.7	9.8	9.6

*総質量は、19.7kgで、ケース2個に分け、全ケーブルをケース2に収納することでケース1・2とも機内持ち込み条件10kg未満にした。

*限られたスペース内への収納は、機器を複数段に重ねる構造の「立体トレイ」を考案し解決した。

(1) ケース1の収納



機器同士の接触を防ぐ緩衝スペーサー



(2) ケース2の収納



緩衝スペーサー





ス
る

